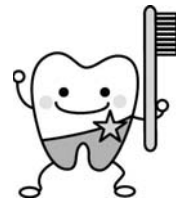


町ぐるみで取り組む

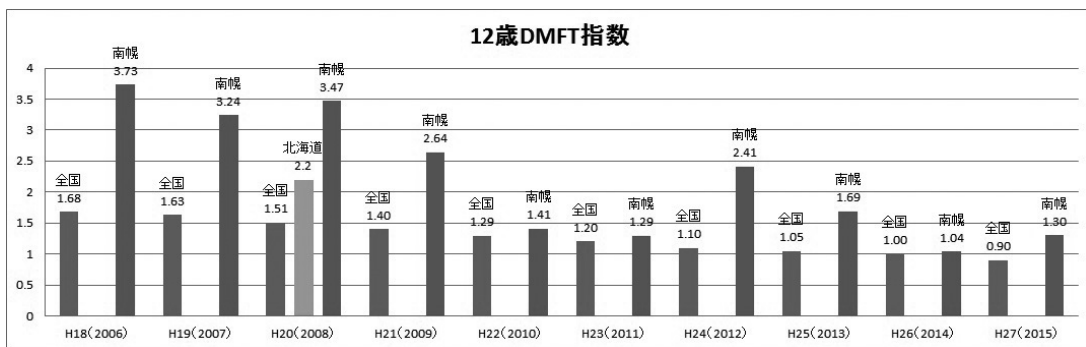
南幌町のむし歯予防



一番身近で誰もがかかりやすい病気、「むし歯」。そのむし歯を予防するために、町が取り組んでいる「フッ化物洗口事業」についてまとめました。

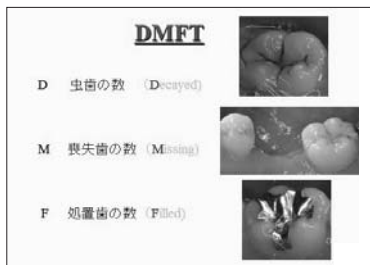
☆南幌町の児童のむし歯は全国の2倍だった！（平成18年）

南幌町では、幼児期のむし歯の本数は低い状況にあります。12歳になると1人当たりのむし歯の本数が全国より高い状況にあります。学校保健統計調査によると、南幌町12歳の児童のむし歯の状態が、下記グラフのとおり、平成18年（2006年）全国平均が1.68本、南幌町が3.73本と全国平均の2倍の保有数でした。



全国平均より2倍の保有数が続いていました

全国平均に近づいてきました。



北海道においても、上記調査より平成20年（2008年）、12歳DMFTが、全国平均1.51本に対し、北海道は2.2本、全国ワースト3位となっており、その結果、全国平均より10～15歳早く歯を失っている状況でした。

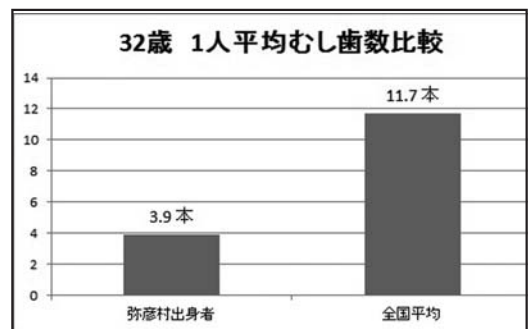
平成20年、北海道・口腔の健康づくり8020推進条例が制定され、幼児・児童及び生徒を対象に学校等におけるフッ化物洗口の普及が進んできました。

☆みんなで取り組むむし歯予防

歯は、生えてから2～3年が最もむし歯になりやすいため、永久歯に生えかわる時期である保育園・幼稚園・小学校・中学校の時期に適切なむし歯予防を行うことが大切です。町としては、保護者へのむし歯予防の保健指導や、幼児歯科検診・フッ化物塗布など行ってきましたが、町全体でむし歯予防に取り組む必要性を実感していました。

南幌町のむし歯の多い実態や北海道での条例化もあり、先駆的な取り組みを参考に保健所や町内歯科医師の指導のもと、個人の取り組みにとどまらず、集団でのフッ化物洗口事業に取り組むことの必要性を感じ、関係機関や保護者の理解の上、平成23年7月に保育園・幼稚園で、平成25年2月には小学校・中学校とフッ化物洗口事業を開始しました。

国内の中でも、先駆的にむし歯予防に取り組む成果がでている新潟県。県内西蒲原郡弥彦村の弥彦小学校がフッ化物洗口を始めたのは昭和45年でした。保育園、小学校、中学校と継続してフッ化物洗口を行ってきた弥彦村出身者の約20年後（32歳時点）のDMFTは、全国平均の3分の1で、フッ化物洗口の効果は大人になっても持続していくことがわかっています。



☆南幌町の児童のむし歯が全国並みに！（平成26・27年）

今年、保育園・幼稚園で事業開始より5年、小学校・中学校で3年が経過しています。

事業を実施しての評価は今後も継続が必要ですが、平成26年、平成27年と2年連続で12歳DMFTが全国平均レベルに近づいてきました。保護者の皆さんのご理解と保育園・幼稚園・小学校・中学校と関係機関の協力を得て、町全体で取り組んできた結果、少しずつですが、むし歯予防の効果がみえてきました。平成27年度末の北海道の集計によると、フッ化物洗口事業の実施市町村は163ヵ所、南空知管内においては、南幌町のみが、就学前の保育園・幼稚園から就学後の小学校・中学校と継続して行われています。



☆これからのむし歯予防のために

子どものむし歯の発生は、生活習慣や環境に影響を受けやすく、この習慣や環境を変えることは容易ではありません。また、フッ化物洗口を家庭において個人で行うことは、継続性が保証されず個人差が出てきます。園や学校といった集団の場でフッ化物洗口を行うことは、家庭環境に関わらず、すべての子どもたちに同じようにむし歯予防の効果が得られます。

町では、むし歯予防の取り組みとして、今後もフッ化物洗口事業を継続します。町民の皆さんには、将来の子どもたちの健康のためにご理解ご協力をお願いします。



用語解説

■学校保健統計調査とは

幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的に文部科学省が毎年実施している調査です。

■DMFTとは

集団での永久歯のむし歯罹患状況を知るために国際的に用いられる指数で、すでにむし歯に罹患している歯の1人あたりの平均本数のことをさします。

DMFT指数＝検査を受けた全員におけるDMF歯の合計／検査を受けた者の数

■フッ化物洗口とは

医師の指示に基づいて作ったフッ化物水溶液を用いて、30秒口に含みぶくぶくうがいをして吐き出します。保護者に実施希望調査を行い実施しています。

■フッ素とは

フッ素とは、食品（海産物、肉、野菜、お茶など）、水、土壌といった自然界に広く存在するむし歯に効果がある物質です。むし歯予防に使用するフッ素とは、フッ化ナトリウム（NaF）という化合物です。市販の歯磨剤にも多く添加されています。

■フッ素のむし歯予防効果

(1)再石灰化の促進

むし歯になりかけて溶けだしたカルシウムをもとに戻す作用を促します。

(2)歯の質の強化

歯の表面に酸に溶けにくい結晶を作りだし歯の質を丈夫にします。

(3)むし歯菌の酵素作用の抑制

むし歯菌の活動を抑え、歯をとかす酸を出しにくくします。

